

高浜市の未来を創る市民会議分科会の ようすをお知らせします

まちづくりの各分野をテーマにした分科会では、市民と行政が活発な意見交換を行っています。
3つの分科会のリーダーに、想いを聴きました！

まちの財政 もっと伝えていきたい

財政 分科会



小笠原芳夫市民リーダー



竹内正夫職員リーダー

市民リーダー 小笠原芳夫さん

「財政に関心を持ってもらうために、昨年度作った財政クイズを広める手段を話し合っています。個人的には、とりめしやわがまちの特産物をクイズの景品に出したら多くの皆さんが関心を持ってくれるかなと思うんですけどね(笑)。もっと理解しやすく、親しみやすくするために、財政ゲームの作成にも力を入れて取り組んでいます。若手の職員のがんばりが楽しみだね。」

職員リーダー 竹内正夫(総務部財務グループリーダー)

「今年は、テーマごとにチームをわけ少人数でじっくり話し合っています。財政の分野は、用語やしくみが難しいと思われがちなので、わかりやすく伝え、関心と理解を得たいと努力しています。小笠原リーダーをはじめ市民メンバーさんには、若手職員たちを育ててもらっているように感じています。」

学校と地域のちからをあわせて

学校教育 分科会



竹内一仁市民リーダー



神谷 理職員リーダー

市民リーダー 竹内一仁さん

「昨年度は、学校・地域の想いをマッチングさせる教育支援活動のしくみづくり(地域ぐるみで子どもたちの成長を見守り手助けする[みんなの学校])を検討してきました。今年度は、学校の実情に応じた具体的なテーマとして[学校防災]に取り組んでいます。保護者・学校・地域のそれぞれの視点で災害時の学校避難所開設、運営についてのマニュアル化を検討しています。地域の協力により、子どもたちが学校の体育館を使った避難所体験を行うなど実践的な取り組みもはじまり、[みんなの学校]というそれぞれの想いが高まり、つながっていくのを実感しています。」

職員リーダー 神谷 理(教育委員会学校経営グループ主幹)

「昨年度までは、学校現場にいました。市民メンバーさんの中には、児童・生徒の保護者の方もみえて、心強いです。これまでとは違う立場でいっしょに学校と地域をつなげる方法を考えています。みなさんが地域の子どもの教育に熱い気持ちをもって語る姿に感動です。」

心地よい環境をねばりづよく

環境・憩い 分科会



竹内亨弘市民リーダー



山下浩二職員リーダー

市民リーダー 竹内亨弘さん

「環境分野は、全員が参加し、継続できるプログラムを考えていかないと効果が出ません。例えば不法投棄。市役所に電話が入ると、職員が片づけに行くような状態がいつまでも続いてよいのでしょうか。今ある活動をもっと肉付けし、関係者をできるだけ多くして、継続とコストを目線に入れた活動をしていきたいですね。」

職員リーダー 山下浩二(市民総合窓口センター市民生活グループリーダー)

「とても熱心な市民メンバーさんたちと毎月エコハウスに集まり、ごみ問題の解決策について、具体的に事例をあげながら検討したり実験をしています。みなさんが町内会などの地域活動にその結果を持ち帰り、新たな取り組みの芽を育ててくれるのが本当にうれしく、環境美化のパートナーとして絆が強まっていると自負しています。」

◆詳しい内容は、高浜市公式ホームページ

<http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/seisaku/> をご覧ください!!

◆市民会議は傍聴もできます。開催日時・場所などは、問い合わせてください。



問合せ先 困地域政策グループ ☎52-1111(内線332)